

TOTO

ウォシュレット® ネオレストハイブリッド (便器部)

BPM

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

| 表示 | 意味 |
|----|--|
| | 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
| | 禁止 は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。 |
| | 必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。 |

| 注意 | |
|----|---|
| | <p>便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> |
| | <p>設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。</p> <p>設置工事は、この説明書に従って確実にを行う 故障や水漏れの原因になります。</p> |

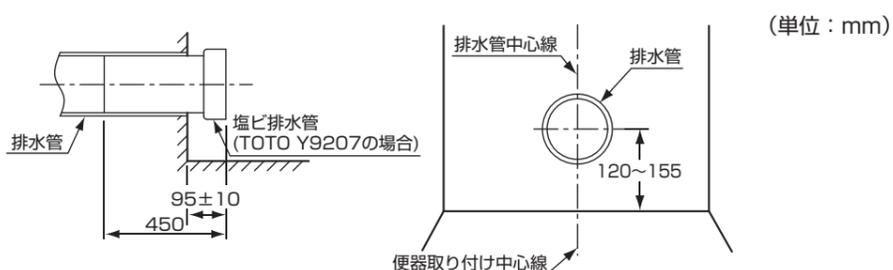
同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

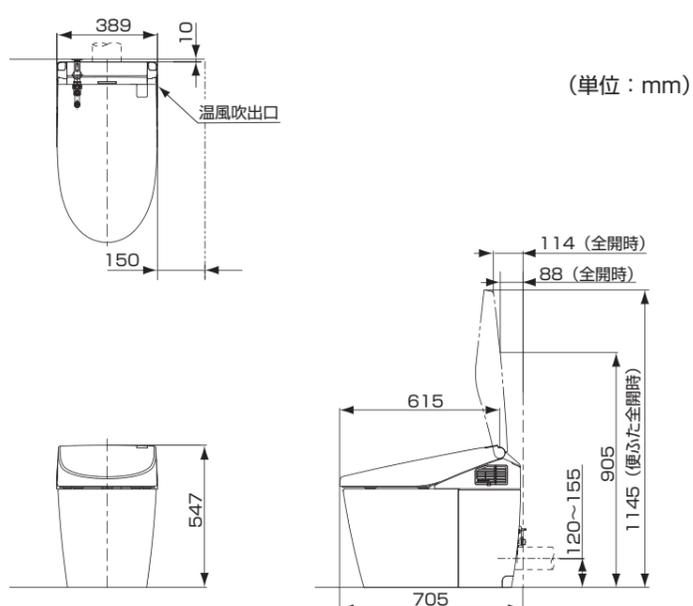
| 便器本体 | 排水ソケット | 固定片 |
|-----------------------|--------------------------|-----------------------|
| | | |
| すっきりパネル | 排水ソケット | 固定片 |
| | (1個) | (1個) |
| すっきりパネル(左) すっきりパネル(右) | ※パッキン付き | 接着ブロック |
| (1個) (1個) | | (1個) |
| 給水金具 | 固定金具類 | その他 |
| | | |
| 止水栓 (1個) | 六角ボルト (2本) | 施工説明書 (1部) |
| 床継手 (1個) | 止め金具 (2個) | 開閉工具 (1個) |
| クイックファスナー (1個) | ナット (2個) | ※すっきりパネル裏側に貼り付けてあります。 |
| エルボ (1個) | ワッシャー (2枚) | |
| ストレート管フランジ (1個) | 木ねじ (排水ソケット用) (φ6×60:4本) | |
| 分岐金具 (1個) | 給水ホース | 位置決めシート (1枚) |
| パッキン (1個) | 給水ホース(1本)※パッキン付き | |

取り付け前のご注意

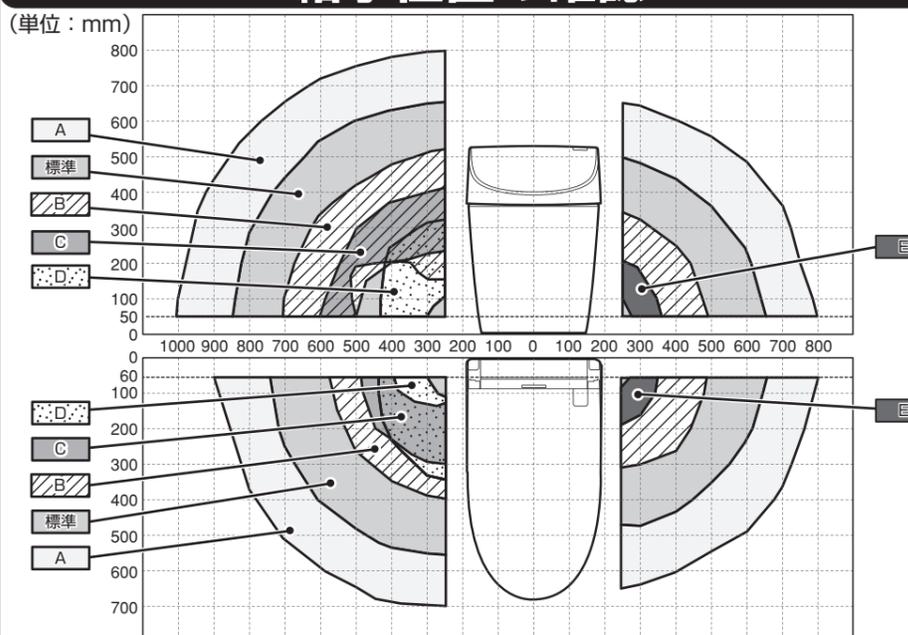
- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因となります)
- 窓枠、棚、収納キャビネットなどと便器の干渉にご注意ください。便器が当たって開ききらないことがあります。(棚、収納キャビネットは下端 FL+1400mm以上を目安としてください)
- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- 電源は交流100V (50/60Hz)、定格消費電力はAH1:1284W、AH2・AH3:1379W (ヒータ付便器の場合はAH1:1324W、AH2・AH3:1419W) です。
- 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力は0.05MPa (流動10L/min) ~0.75MPa (静水圧) です。この圧力範囲でご使用ください。
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- 止水栓を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。



商品セット図 (施工完了図)



給水位置の確認



- 給水ホースオプション (A ~ E) を使うと、給水ホースがきれいに納まります。
- 右給水の場合や給水ホースの過不足がある場合、長さ違いの給水ホースをご購入ください。
- 便器の設置位置が前に出る場合には、給水位置の対応範囲が異なります。
- 給水ホースが折れないように接続方向を調整してください。

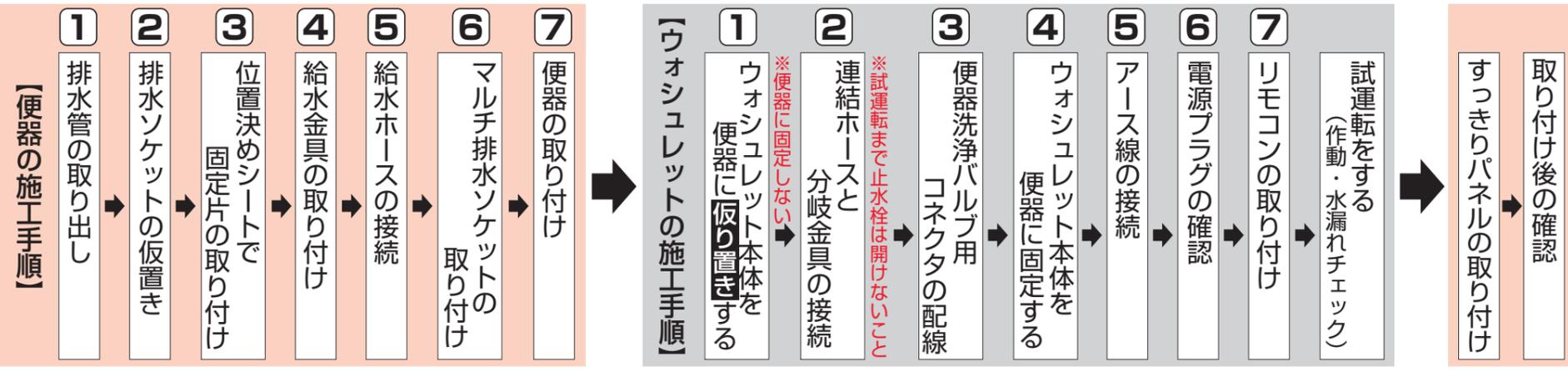
| 給水位置 | 大便秘用給水ホース品番 | ホース長さ | 対応範囲 (上図参照) |
|------|-------------------|-------|---------------|
| 標準 | 同梱の給水ホースをご使用ください。 | 700mm | 標準の範囲の最適長さです。 |
| A | TN111L86 | 860mm | Aの範囲の最適長さです。 |
| B | TN111L552 | 550mm | Bの範囲の最適長さです。 |
| C | TN111L45 | 450mm | Cの範囲の最適長さです。 |
| D | TN111L40 | 400mm | Dの範囲の最適長さです。 |
| E | TN111L37 | 370mm | Eの範囲の最適長さです。 |

※寒冷地(水抜き方式)の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
水抜きハンドルはパネルと干渉しない位置に立ち上げてください。
※オプションホースの接続については、オプション品同梱の施工説明書を確認してください。
※TN111L37は長さ調節用の継手を使用しない場合の範囲を示しています。

| 注意 | |
|----|---|
| | 禁止 給水位置の真下に電源コンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・電源コンセントを接触させない 結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。 |
| | 必ず実行 給水管取り出し範囲に止水栓取り出し位置があることを確認する 給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉するおそれがあります。 |

施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けください。(は本紙、 はウォシュレットの施工説明書を参照ください)



各部のなまえと施工のポイント

ポイント⑤

- 火や熱で加工したり、切ったりしないでください。
- 溶剤や接着剤を塗布するとパッキンが溶けるおそれがあります。
- 取り付けには必ず水石けんを使用してください。水石けんを使用しないとパッキンが切れるおそれがあります。
- 取り付け後は必ず水溜試験を行い、水漏れしないことを確認してください。
- 取り付け後、水漏れする場合はPシール(TOTO品番：TZ106A)をパッキンと排水口の境目に充て込んでください。

排水口にパッキンを取り付けた際の状態について、以下を確認してください。

【パッキン側面図】



排水ソケットの高さ、排水ソケット口径の陶器公差・排水管の高さの施工誤差によっては、パッキンがはみ出すことがあります。水溜試験の結果、水漏れしていなければパッキンがはみ出しているても品質的に問題はありません。

ポイント⑥

排水管は、必ず1/50以上の勾配を確保してください。

注意

排水管を逆勾配にしない
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

必ず実行

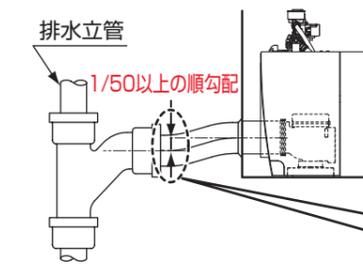
ポイント②

給水ホースの取り付けの際、ホースの折れに注意すること！ (➡⑤)



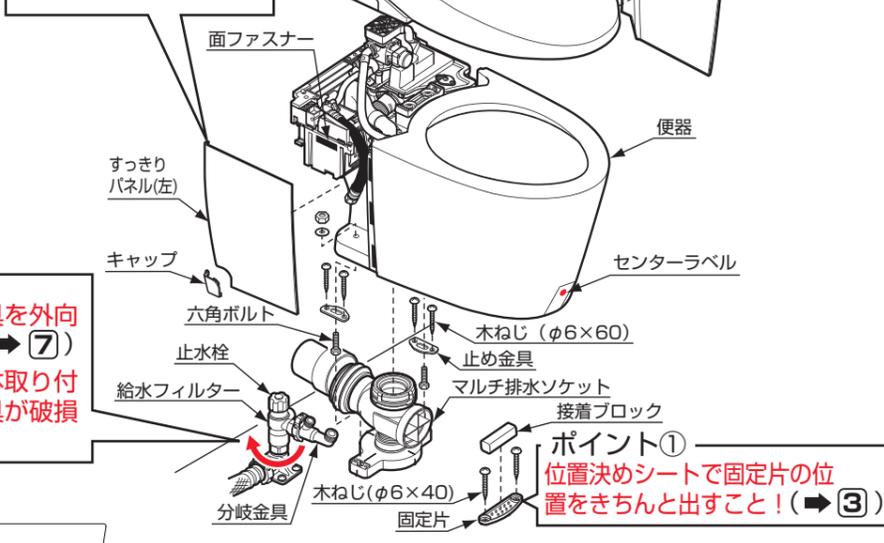
ポイント③

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておくこと！ (➡⑦)
外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。



ポイント④

すっきりパネルの取り付けはウォシュレット本体を取り付けたあとに行うこと！



ポイント①
位置決めシートで固定片の位置をきちんと出すこと！ (➡③)

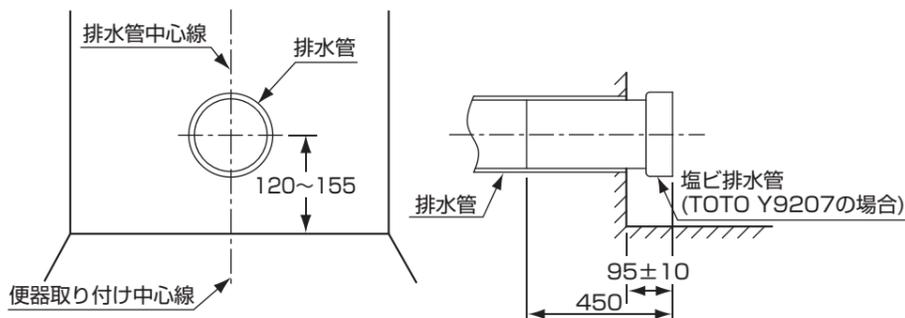
排水管サドル・支持金具・バンドなどで固定する場合は、便器排水口が接続できる高さに調整したあとに実施ください。固定の際は高さ調整した排水管を引っ張ったり、突き上げたりしないように注意ください。

取付方法

1 排水管の取り出し

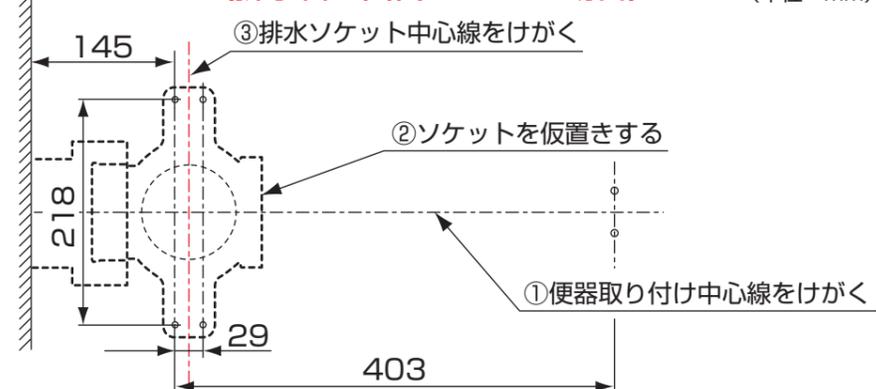
排水管を所定の位置に取り出す。

(単位：mm)



2 排水ソケットの仮置き

- 便器取り付け中心線をけがく。
- 下図を参照して排水の接続が所定の位置になるように排水ソケットを仮置きする。
※このとき、便器取り付け中心線と排水ソケットの中心がほぼ一致するように注意してください。
- 排水ソケット中心線をけがく
- 排水ソケットを外し、排水ソケット取付木ねじ位置にφ3程度の下穴をあける。

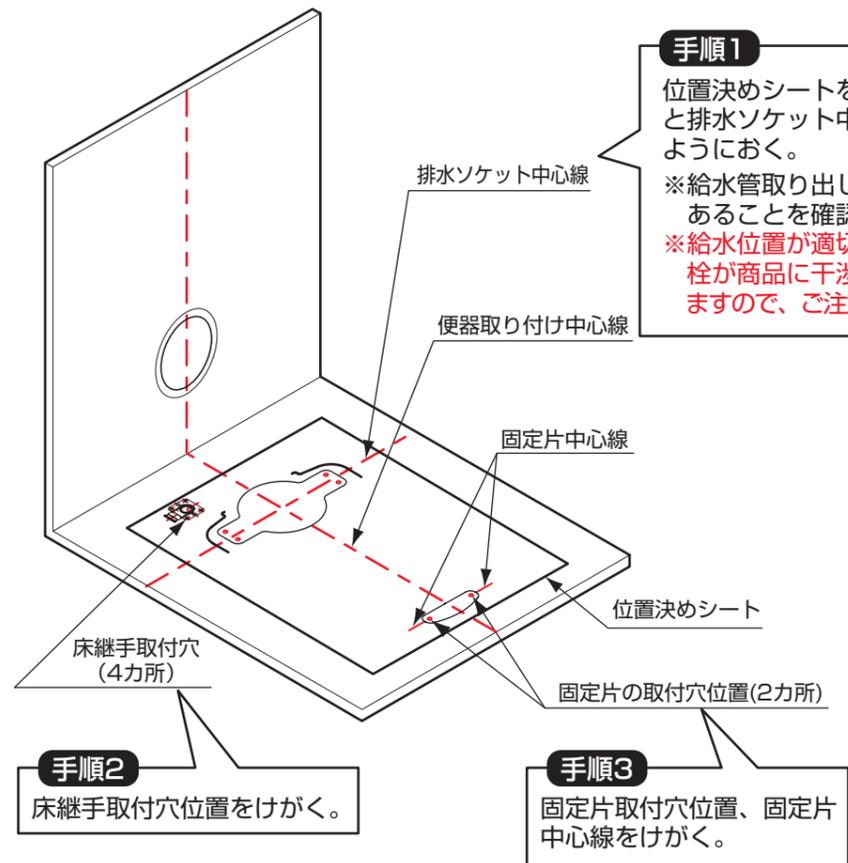


排水ソケットの仮置きのかた

- 排水管高さが、120mm～155mmであることを確認する。
- 台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。
パッキンにせっけん水を塗布すると差し込みが容易になります。
- 台座部を床に当たるまで回転させる。
- つばが壁に平行になるように調整し、排水ソケット中心線をけがく。

3 位置決めシートで固定片の取り付け

(位置決めシート設置状態【床給水の場合】)



手順1

位置決めシートを便器取付中心線と排水ソケット中心線にあわせるようにおく。
 ※給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
 ※給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。

手順2

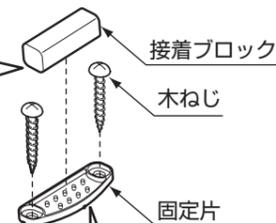
床継手取付穴位置をけがく。

手順3

固定片取付穴位置、固定片中心線をけがく。

手順4

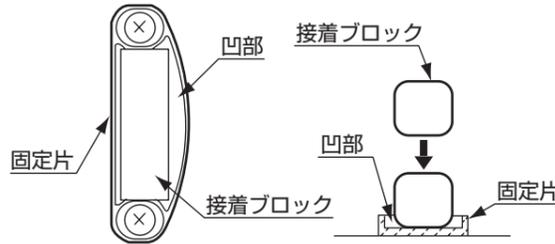
位置決めシートを外し、固定片を所定の位置に木ねじで固定する。
 ※床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



※気温が下がると接着ブロックが固くなることもあるので、このときは、20~30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用する

手順5

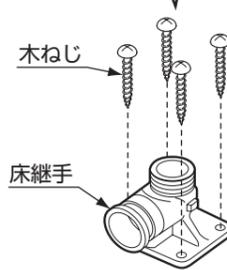
固定片の凹部に接着ブロックをセットする。



4 給水金具の取り付け

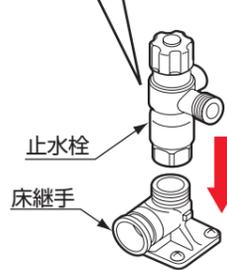
手順1

床継手を所定の位置に木ねじ (4本) で固定する。



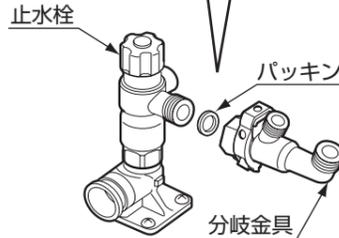
手順2

床継手に止水栓をねじ込む。
 ※ねじ部にはシールテープを巻いて、取り付けてください。



手順3

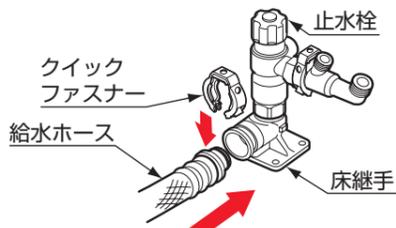
止水栓にパッキンと分岐金具を取り付ける。



*オプションホースの接続については、オプション品同梱の施工説明書を確認してください。

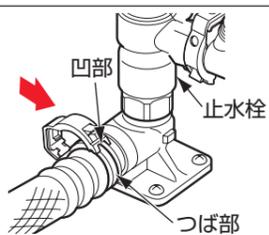
5 給水ホースの接続

①床継手に給水ホースを接続し、クイックファスナーを取り付ける。

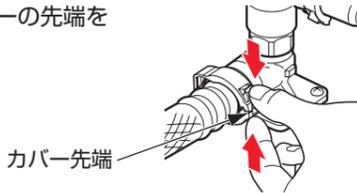


クイックファスナーの取り付けかた

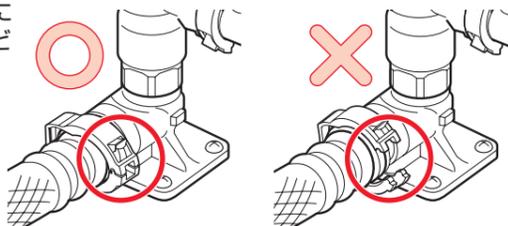
1) 床継手と給水ホースとのつば部にクイックファスナーカバー先端の凹部をあわせ、真っすぐ押し込む。



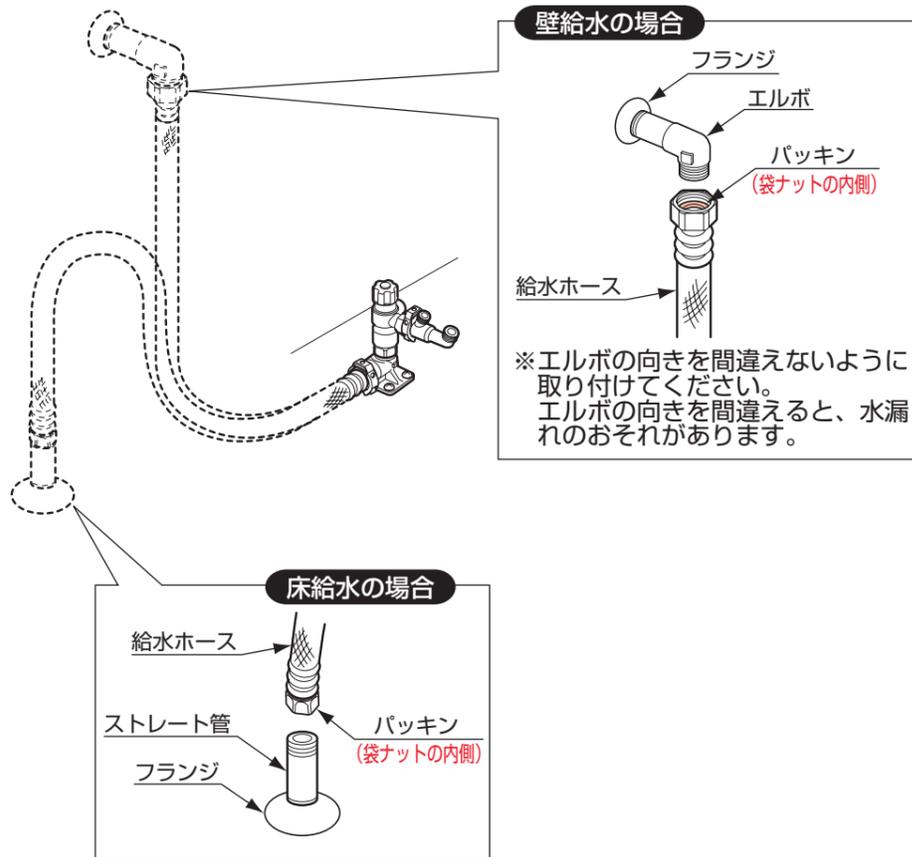
2) クイックファスナーは、カバーの先端を指先で確実に閉める。



3) クイックファスナーが確実に閉まっていることを目視などで確認する。



②既設の止水栓を取り外し、既設の給水管にストレート管 (床給水の場合) またはエルボ (壁給水の場合) を取り付け、給水ホースを接続する。



※エルボの向きを間違えないように取り付けてください。エルボの向きを間違えると、水漏れのおそれがあります。

⚠注意

- 床継手と給水ホースはすき間ができないように確実に押し込む
 - クイックファスナーは正しく取り付け、目視などで確認する
 - クイックファスナーのカバーが閉まらない場合は、クイックファスナーが正しく接続されていない可能性があり、そのまま使用すると水漏れの原因になるので、必ずクイックファスナーを取り外して正しく接続し直す
- 取り付けが不十分な場合、外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

⚠注意

- 袋ナットの内側にパッキンが入っていることを確認する
- 給水ホースの取り付けの際、ホースの折れに注意する



必ず実行



*オプションホースの接続については、オプション品同梱の施工説明書を確認してください。

6 マルチ排水ソケットの取り付け

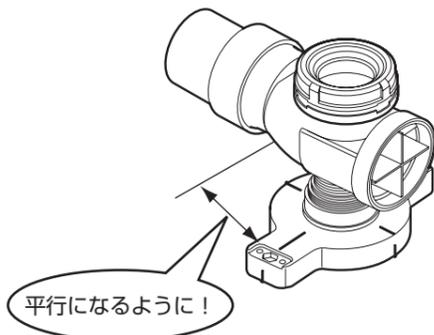
①台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。



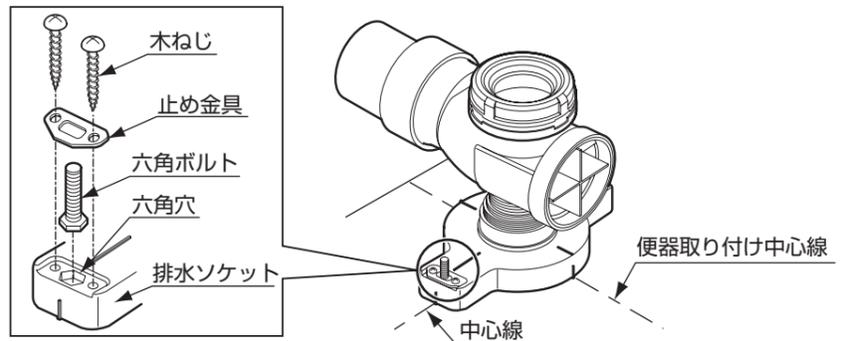
②台座部を床に当たるまで回転させる。



③つばが壁に平行になるように調整する。



④排水ソケット固定部は所定の位置に六角ボルトを立て、六角ボルトに止め金具を通したうえで、木ねじで床に固定する。



⚠️ 注意



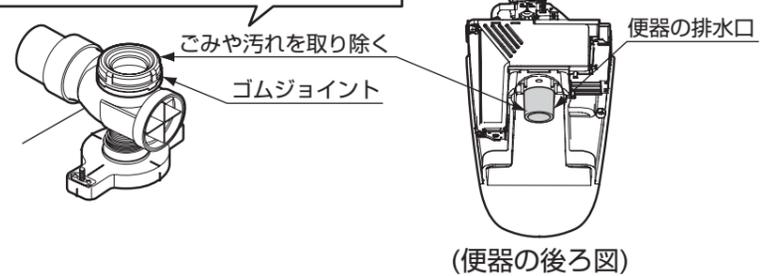
排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にめ込む
 確実にめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

必ず実行

7 便器の取り付け

手順1

便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き排水口を排水ソケットに差し込む。



7 便器の取り付け (つづき)



ワンポイント

排水ソケットに便器本体を取り付ける場合は、目安として **壁から10~15mm** を目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。
 ※壁に傷がつかないように注意してください。



便器の持ち方

手順4

便器側の取付穴(2カ所)をワッシャー、ナットで固定する。

注意4

ナットを確実に締めること
 ナットを締めすぎて便器を割らないように注意してください。

手順2

分岐金具を外向きに回転させておく。(便器に干渉しないように)

注意1

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておくこと!
 外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。



手順3

センターラベルを基準に便器の位置を微調整し、センターラベルをはがしたあとに、便器が床につくまで、しっかり便器を押さえる。

注意2

センターラベルを基準に便器の位置を微調整すること
 位置合わせ後、センターラベルをはがすこと

注意3

便器が床につくまでしっかり便器を押さえること

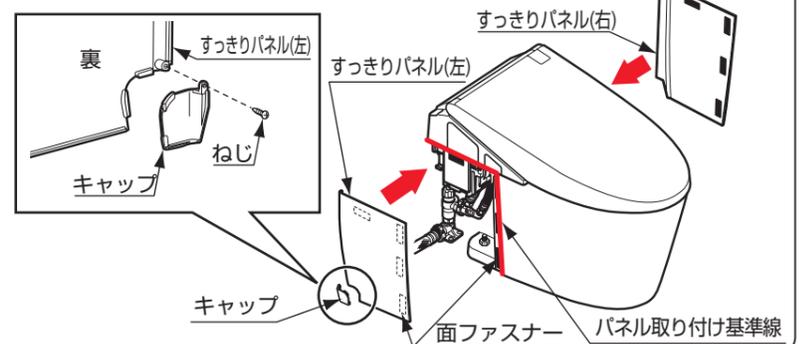
※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

ウォシュレット本体の取り付け

ウォシュレット本体の取り付けはウォシュレット本体同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

すっきりパネルの取り付け

- ①すっきりパネル(左)からねじを外して、キャップを取り外す。
- ②ウォシュレット機能部の試運転確認後、すっきりパネルをパネル取り付け基準線(赤線)にあわせて取り付ける。
 ※このとき、面ファスナー部(4カ所)をしっかり押さえてすっきりパネルが外れないことを確認してください。



取り付け後の確認

1. 試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。
 もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
2. 陶器表面に傷などが無いことを確認してください。
 陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡がつくことがあります。スジ状の跡がついた場合は、#1200以上の耐水ペーパーや当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材(メジシール)を充てんすることをおすすめします。

